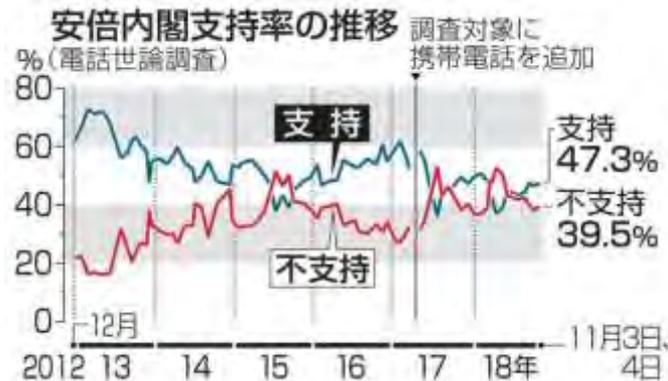


2018年11月2～5日①

世論調査（共同）、11・3 憲法公布記念日、改憲とのたたかい、改憲めぐる動き

外国人就労拡大、賛成 51% 共同通信世論調査

共同通信 2018/11/4 18:26



安倍内閣支持率の推移

共同通信社が3、4両日に実施した全国電話世論調査によると、外国人労働者の受け入れを拡大する入管難民法などの改正案に賛成するとの回答は51.3%だった。反対は39.5%。国税庁への口利き疑惑を報じられた片山さつき地方創生担当相の対応に関しては「記者会見などで詳しく説明するべきだ」との答えが74.7%に上った。「今のままの対応でよい」は17.2%にとどまった。

安倍内閣の支持率は47.3%で、10月2、3両日の前回調査から0.8ポイント増でほぼ横ばい。不支持は39.5%だった。来年10月の消費税率引き上げに反対は50.8%で、賛成は46.4%だった。

## 95歳、憲法手帳を相棒に全国回り 戦前回帰恐れ護憲講演

東京新聞 2018年11月4日 朝刊

安倍晋三首相が改憲案の今国会提出に強い意欲を示す中、条文が列記された「憲法手帳」を常にポケットに忍ばせながら、自身の戦争体験や護憲を各地で訴えている九十五歳がいる。国際政治学者の畑田重夫さん＝静岡市清水区。三日は憲法公布から七十二年。教育勅語を評価するような閣僚発言などに「国家観が戦前回帰しているように感じる。平和憲法を変えることは絶対に認められない」と熱を込める。(井上靖史)

「亡くなった同期生の分を一人で生き、無念を伝え続けなければならない」。身ぶりを交えながら戦争体験を語る様子にエネルギーがみなぎる。講演は今でこそ月二～三回に減ったが、関東や東海、関西など全国を飛び回る。

名古屋市の旧制第八高等学校在学中の一九四三年、軍隊に召集され、甲府市にあった旧陸軍の歩兵部隊へ。訓練で患った腸の病気の治療のため陸軍病院に入院中、同期は中国に移動。台湾とフィリピン間のバシー海峡で米軍の魚雷

攻撃に遭うなどして二千人近くがほぼ全滅したことを、終戦後に上官から聞かされた。

「生きて伝えることが仕事」といい、長寿のためにいつも持ち歩いているニンニクのおろし金と憲法手帳を見せる畑田さん＝静岡市清水区で



「生き残った申し訳なさと同時に、生きて無念を伝え、二度と戦争させないようにするのが使命だと感じた」

旧東京帝大法学部へ入学後の四六年、公布された現行憲法を読んだ。「最初に『国民主権』が書かれている。天皇中心だった旧憲法と全く違い、新鮮だった」と回想する。

旧内務省に勤めたが、「官僚は好きではない」と三カ月で退職。東大大学院で学び直し、名古屋大で教えた。健康を損ねて助教授で六二年に退職した後も、政治学会や市民を対象に平和を訴える講演を続けてきた。

いつも上着の右側の内ポケットには、憲法手帳。「片時も体から離さない。疑問がわけば、この権利は憲法何条に基づいているとか、その都度確認する。だからすぐにボロボロになってしまう」という。

憲法を大事にしてきたからこそ、このところの政治の動きを「戦前回帰では」と懸念する。改憲や教育勅語再評価、明治維新から百五十年を祝う歴史観、東京五輪・パラリンピックに向けた国威発揚一。

かつては保守系にも思いを同じにする人がいた。官房長官や自民党幹事長を歴任し、今年一月に九十二歳で死去した野中広務さんは、京都府の旧制園部中学校（現南丹市）の二年後輩で同じ剣道部員だった。交流を続け、数年前には南丹市で開かれた集会へ一緒に登壇。憲法は守らなければいけないという意見で一致した。

「自民党ではっきり物を言える数少ない人物だった。少なくなった戦争体験者である私たちが、『九条改憲だけはだめだ』と肉声で語り、聞いてもらうことが大事だ」

左側の内ポケットに入っているのは、健康療法として摂取し続けてきたニンニクと、すり下ろすためのおろし金、包んで飲むオブラート。発信を続けるため、自身に言い聞

かせる。「あと三年くらいは死ねない」  
〈はただ・しげお〉 1923 (大正12)年9月生まれ。京都府綾部町 (現綾部市) 出身。旧姓は「藤枝」。結婚の際に妻の姓を選んだ。名古屋大助教授を退職後、労働者教育に携わり、沖縄・伊江島の平和運動家の故・阿波根昌鴻 (あはごん・しょうこう) さんも教え子。87年と91年に東京都知事選に立候補し落選。趣味は野球観戦で西武ライオンズ選手応援団長を務め、「ライオンズ時代がやってくる」などの共著もある。

〈憲法手帳〉 日本国憲法の条文が列記された小冊子。制定直後から、多くの人に内容や国民の権利を知ってもらおうと各市民団体や自治体が独自に作成して配ったり、印刷会社などが予定表と一体にした物を市販したりしている。畑田さんが使っているのは条文だけが書かれた市販の物。

### 護憲派、改憲派が都内で集会 憲法公布から72年

共同通信 2018/11/3 17:51

憲法の公布から3日で72年を迎えた。臨時国会で、憲法改正議論の行方に注目が集まる中、護憲派と改憲派の各団体が東京都内でそれぞれ、集会や街宣活動を行った。

国会前では、改憲に反対する全国の市民らが、「9条変えるな憲法生かせ」などとシュプレヒコールを繰り返した。神戸市垂水区の男性公務員 (57) は、「NO MORE アベ政治」と大きく書かれた手製の看板を掲げて参加。「声を上げないと日本が悪くなる一方だ」と力を込めた。

主催した団体「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」などによると、市民ら約1万8千人が集まった。

新宿駅東口前の広場では、10~40代の若手世代で作る改憲支持の団体「憲法 BlueWave」が街宣活動を行った。憲法に自衛隊を明記するべきだと主張するチラシを配布。改憲議論を進めるべきかについて通行人らにアンケートを取るなどした。

団体の共同代表で大学生の木原祥利さん (22) は、「今の憲法では自衛隊が違憲になる可能性がある。国民投票に備えて改正の議論を始め、理解を深めていった方がいい」と話した。

### 憲法公布72年 改憲に反対する市民らが国会前で集会

朝日新聞デジタル 2018年11月3日 23時28分



国会前に集まり、

安倍政権と改憲への反対を訴える人たち=2018年11月3日午後2時9分、東京都千代田区永田町、鬼室黎撮影



憲法公布から72年となる3日、東京・永田町の国会前で、安倍政権が目指す憲法改正に反対する集会があった。主催者発表で1万8千人が参加。野党の国会議員や憲法学者らとともに「改憲反対」「絶対止めよう」などと訴えた。

市民団体「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」などの主催。

東京都小平市の介護職員、鈴木大智さん (35) は「国民の声が首相に届いていない」と1人で参加した。施設を利用するお年寄りたちは改憲を危惧しているという。南北首脳会談や米朝首脳会談が実現したことに触れ、「平和を目指す世界の動きに逆行している」と語った。

東京都府中市の無職、宮井真理子さん (69) も友人らと足を運んだ。地元で改憲反対の署名活動をした際、自衛隊への入隊を志望する女子高校生も署名したという。「若い人も反対している。福祉や医療など国民生活をよくするためにやるべきことはたくさんある」と訴えた。

### 「戦後の平和 覆さないで」 国会前、改憲反対集会

東京新聞 2018年11月4日 朝刊

自民党改憲案の国会提出や国会の改憲発議の阻止を訴える集会が三日、国会前で開かれた。護憲団体などをつくる「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」「戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会」の主催。約一万八千人 (主催者発表) が「改憲発議絶対止めよう」「九条変えるな。憲法生かせ」と氣勢を上げた。

安倍晋三首相は十月二十四日の所信表明演説で「政党が

具体的な改憲案を示すことで、国民の理解を深める努力を重ねる」などと述べ、今国会中に衆参憲法審査会へ自民党改憲条文案を提示する意欲を示した。改憲の是非を問う国民投票に向け、国会の改憲発議も呼び掛けた。

東京都武蔵野市の主婦岡田友紀さん(42)は「改憲は絶対反対。戦後の平和を覆してはならない」、北区の片柳静子さん(75)は「憲法を変えようとする動きに怒りを感じる。海外で日本人が活躍できるのも今の憲法があつてこそ」と語気を強めた。横浜市の村田広さん(68)は「多くの人が疑問を持っていることを伝えたくて、その一人として駆け付けた」と話した。(服部展和)

#### ◆改憲支持団体は街宣活動

新宿駅東口前の広場では、十～四十代の若手世代でつくる改憲支持の団体「憲法BlueWave」が街宣活動を行った。憲法に自衛隊を明記するべきだと主張するチラシを配布。改憲議論を進めるべきかについて通行人らにアンケートを取るなどした。

しんぶん赤旗 2018年11月4日(日)

### 9条守る本気 国会前1万8000人 憲法公布72年 市民・野党 各地で

72年前に日本国憲法が公布された3日、憲法を守り生かそうとアピールする行動が全国各地で行われました。国会正門前では、「総がかり行動実行委員会」と「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」が大行動を呼びかけました。4野党の代表も参加し、集まった1万8000人(主催者発表)

が「改憲発議ぜったい止めよう」とコールしました。

主催者あいさつした総がかり行動実行委の共同代表、福山真劫さんは、どの



(写真) プラカードをかかげて改憲発議は許さないと訴える人たち=3日、国会正門前

の課題でも暴走し続けている安倍政権は「行き詰まり、崩

壊が始まっています」と指摘。改憲発議と沖縄・辺野古への米軍新基地建設強行を必ず阻止しようと訴え、「市民と野党が連携してたたかえば、安倍政権を打倒できます」と呼びかけました。

市民の代表がつぎつぎスピーチ。「オール沖縄会議」共同代表の高里鈴代さんは、米軍新基地建設ノーの一点で共同し勝利した沖縄県知事選にふれ、「憲法改悪を許さない、安倍政権を倒す一点でつながり行動しましょう」と訴えました。

日本共産党の小池晃書記局長、立憲民主党の有田芳生参院議員、国民民主党の小宮山泰子衆院議員、社民党の又市征治党首があいさつ。小池氏は、朝鮮半島の平和の激動などにふれ「こんなときに憲法9条を壊すなんて愚かなことはありません。今こそ、憲法9条を生かした平和外交が必要です」と強調。沖縄のたたかいに学び、市民と野党の「本気の共闘」を実現して「必ず安倍政権を打倒しましょう」と呼びかけました。

福井県敦賀市の女性(66)は「安倍首相に憲法を変えさせたくありません。自分にできることをしていきたい」。東京都杉並区に住む、娘(31)は、3歳の息子を抱いて参加。

「子どもが大きくなったとき、日本が戦争をする国になっているのは嫌です。憲法9条を絶対守りたい」と話しました。

しんぶん赤旗 2018年11月4日(日)

### 共通の旗印もっと豊かに 国会前大行動 小池書記局長があいさつ

3日に行われた「止めよう! 改憲発議—この憲法で未来をつくる11・3国会前大行動」では、日本共産党の小池晃書記局長と、立憲民主、国民民主、社民の各党の代表があいさつしました。

小池氏は、安倍晋三首相が臨時国会の所信表明で「国の理想を語るものは憲法」だと述べ、憲法改定の議論をするのが国会議員の責務だと語ったことを批判。「安倍首相が勝手なことをしないように安倍首相の手足を縛るのが憲法であり、国会議員の責任は憲法を守ることだ」と訴えると、「そうだ」の音が響きました。

「私たちは沖縄のたたかひから学ばなければならない」と語りかけた小池氏。沖縄県知事選で米軍新基地建設に反対する玉城デニー氏が8万票の大差をつけて勝利した背景に、保守・革新を超えて「オール沖縄」が団結し、国政5



(写真) 連帯のあいさつをする小池晃書記局長=3日、国会正門前

野党1会派が一致結束したたかひがあつたとし『本気の共闘』をやれば安倍政権を倒せると証明したのが沖縄のたかひだ。沖縄のようにたかひおうではありませんか」と力を込めました。

小池氏は、来年の参院選の1人区で野党が候補者を一本化し、複数区や比例区でも野党が競い合つて安倍政権を少数に追い込んでいくための議論が始まっているとし、『野党は共闘』の声をもっともっと広げて後押ししてください』と強調。同時に「共通の旗印」も豊かにしていかなければいけないとし、安倍政権が進める憲法9条改悪、消費税10%増税、沖縄県での新基地建設への反対に加え、核兵器禁止条約実現、原発ゼロ実現・再稼働反対も野党の旗印にしていこうと呼びかけると、大きな拍手と「野党は共闘」のコールが湧き起こりました。

立憲民主党の有田芳生参院議員も「野党の力が決定的に大事だと示したのが沖縄のたかひだ。野党と全国各地の仲間と力を合わせて安倍政権を打倒したい」とし、社民党の又市征治党首も「参院選では32の1人区の候補者一本化を中心として選挙協力をしっかり進め、安倍政権を退陣に追い込みたい」と訴え。国民民主党の小宮山泰子衆院議員は「安倍政権のもとで憲法を変えさせるわけにはいかない」と語りました。

### 市民集会 改憲発議を阻止へ 100人参加 青森 / 青森

毎日新聞 2018年11月4日 地方版

国会による憲法改正案の発議を阻止しようと、市民団体「青森県九条の会」は3日、青森市の青い森公園で市民集会を開き、約100人が参加した。

市民集会は、国会前で開かれる大行動に合わせて企画された。集会で同会の共同代表、谷崎嘉治さんは安倍晋三首相が所信表明演説で憲法改正の議論加速を与野党に呼びかけたこと…

東奥日報 2018年11月3日

### 青森市で改憲反対を訴え市民集会とパレード



集会後のパレードで憲法9条改正反対を呼び掛ける参加者

日本国憲法公布から72年を迎えた3日、県九条の会など11団体は青森市の青い森公園で市民集会を開き、憲法9条改正への反対を呼び掛けた。

### 佐野九条の会 イラク人道支援・高遠さん講演会 あす / 栃木

毎日新聞 2018年11月3日 地方版

イラクで人道支援活動が続いている高遠菜穂子さん(48)の講演会「イラクから見る日本～暴力の連鎖の中で考える」(佐野九条の会主催、毎日新聞宇都宮支局など後援)が4日、佐野市浅沼町の市文化会館小ホールで開かれる。同会の設立13周年記念イベント。

高遠さんは2003年から現在までイラクで人道、医療の支援活動を…

### 憲法集会 円山公園に2200人 自民改憲案を批判 / 京都

毎日新聞 2018年11月4日 地方版



自民党の改憲案の問題点を指摘する広渡清吾・東京大名誉教授＝京都市東山区の円山公園音楽堂で、国本ようこ撮影

京都市東山区の円山公園音楽堂で3日、「生かそう憲法守ろう9条 11・3憲法集会」(憲法9条京都の会など主催)が開かれた。「安全保障関連法に反対する学者の会」の発起人の広渡清吾・東京大名誉教授が講演し、約2200人(主催者発表)が参加した。

広渡氏は自民党の改憲案について「基本的人権を制限し、軍事を政治、経…

しんぶん赤旗 2018年11月4日(日)

### 安倍改憲許さない 各地で行動 野党が連帯 大阪 集会に1万2000人

「輝け憲法！  
ともに生きる社会を！11・3  
おおさか総がかり集会」(実行委員会主催)が、大阪市北区の扇町公園で開かれました。1万2000人の参加者がコールに合



(写真) エイサーの音楽とともにプラカードをかかげる1万2000人の参加者＝3日、大阪市

わせていっせいに「9条改憲NO!」「東アジアに平和を！」

のプラカードを突き上げました。

「戦争させない1000人委員会・大阪」の米田彰男共同代表が「3000万人署名の運動をさらに広げて安倍内閣総退陣に追い込んでいきましょう」と主催者あいさつ。沖縄平和運動センターの山城博治議長がゲストスピーチし、各分野の代表がスピーチしました。

日本共産党や立憲民主党、社民党、自由党の野党各党の代表が連帯あいさつし、国民民主党はメッセージを寄せました。

日本共産党の宮本岳志衆院議員、清水忠史前衆院議員、たつみコータロー参院議員が参加。たつみ氏が「市民と野党の共闘で、ウソとごまかし、憲法改悪に暴走する安倍政権とその補完勢力の維新の会を来年の統一地方選・参院選で打ち破ろう」と訴えました。

会場では、社会派アイドルグループ「制服向上委員会」のライブや、朝鮮初等学校の女子児童による踊り、沖縄の歌と踊りなどが行われ、会場から大きな拍手が湧き起りました。

## 福岡飛び入り参加も

文化の日の3日、九条の会福岡県連絡会は「安倍9条改憲NO!



(写真) 憲法9条を守るよう訴える横断幕を手沿道に手を振る集会参加者=3日、福岡市

!県民福岡集会」を福岡市で開きました。500人が参加し、集会とデモ行進で「戦争への道、安倍9条改憲を止めよう」と訴えました。

石村善治代表世話人(福岡大学名誉教授)が憲法9条は日本と世界の平和の原動力だと述べ「安倍首相の改憲の意欲を打ち砕こう」と呼びかけました。

日本共産党の田村貴昭衆院議員は、3000万人署名成功で安倍政権を退場にと訴え「野党共闘と国民の共同を広げ、安倍政権の下での9条改憲に断固反対し、たたかい抜く」と決意を述べました。立憲民主党の野田国義参院議員、国民民主党の大島九州男参院議員、社民党の池田良子市議、緑の党の荒木龍昇市議が連帯のあいさつ。立憲民主党の山内康一衆院議員がメッセージを寄せました。

呼び止められて会場に入った青年(23)は、集会に参加するのは初めて。「参加して改憲の必要性に疑問を持ちました。戦争しないことは日本の9条ならでは、守っていく

べきです。今まで素通りしていた街頭宣伝にも今後は足を止めてみたい」と語りました。

## 京都 繁華街デモ行進

京都市東山区の円山(まるやま)公園音楽堂で3日、「憲



(写真) 八坂神社前から繁華街をデモ行進する参加者ら=3日、京都市

法9条京都の会」と「安倍9条改憲NO!全国市民アクション・京都」が共催する「11・3憲法集会in京都」が行われ、2200人が参加しました。

東京大学名誉教授で「市民連合」呼びかけ人の広渡清吾氏が講演。広渡氏は安倍改憲について「自衛隊を憲法に書くということは、一行政機関である自衛隊を、国会、内閣、裁判所など三権と同列に置く特別扱いだ」と批判。「安倍政権は日本の発展の障害となっている」と強調し、来年の参院選では市民と野党の共闘で立憲野党の姿を国民に示すことが重要だと語りました。

日本共産党から穀田恵二衆院議員と井上さとし、倉林明子両参院議員が参加。社民、新社会、緑の各党代表があいさつし、自由、立憲民主、国民民主の各党がメッセージを寄せました。

あいさつに立った穀田氏は「憲法を無視する安倍政権を、市民と野党の共闘で打倒しよう」と呼びかけました。

集会後、参加者らは「憲法9条を守ろう」などと唱和し、観光客でにぎわう繁華街をデモ行進しました。

## 神戸講演に決意新た

神戸憲法集会が3日、神戸市で開かれ、会場いっ



(写真) 講演する渡辺氏と会場いっぱい参加者=3日、神戸市中央区

ぱいとなる600人以上が参加しました。

渡辺治一橋大学名誉教授が「安倍改憲の危険性と改憲阻止のたたかい」と題し講演し、軍事化の歯止めとなってい

る9条の力と、改憲と海外での武力行使を阻んできた国民運動を指摘。自衛隊を明記する改憲案の危険な内容を明らかにし、3000万人署名が世論を変える大国民運動であり、来年の参院選で市民と野党の共闘の勝利と国民投票の土台になることを強調しました。

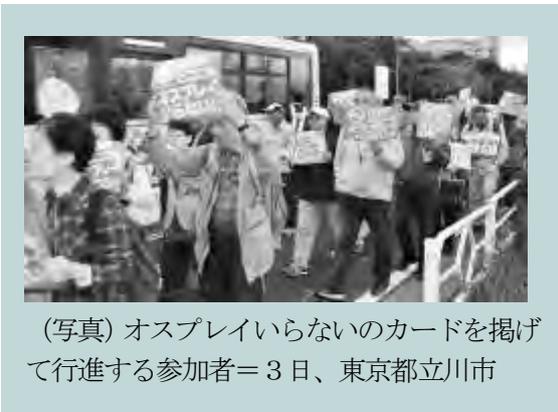
主催者あいさつした兵庫県憲法会議幹事の木下智史関西大学教授は、神戸市が憲法集会の後援を拒否し続けていることを紹介し「行政の長のそうした態度が憲法に基づく政治、国の運営を危うくしている」と批判しました。

参加した大学生の男性（20）は「9条は生きているということが印象に残りました」と話していました。

しんぶん赤旗 2018年11月4日(日)

### 戦争に加担しない 東京・立川 オスプレイNO 市民行動

日本国憲法が公布されて72年目の3日、東京都立川市では、市民・団



(写真) オスプレイいらないのカードを掲げて行進する参加者=3日、東京都立川市

体を中心に実行委員会を組んで、「9条改憲阻止・オスプレイ配備反対11・3立川大行動」を開催しました。200人を超す市民が集まり「日本のどこにもオスプレイいらない」のカードを掲げながら「憲法9条日本の宝」「日本の空をオスプレイ飛ばぬ」と力強くコールして行進しました。

実行委員会は、デモ行進に先立ち立川駅前署名・宣伝活動に取り組み、改憲反対の「3000万人署名」と米軍横田基地へのCV22オスプレイ配備撤回署名を集めました。

通行人が次々に足を止め、昭島市の男性（54）は「9条は変えない方がいい。戦争に加担すれば、他国から攻められることになる」と話し「戦争体験者なので戦争は絶対にだめだ」と語る母親（79）とともに署名に応じました。

デモ行進前の集会では大行動呼びかけ団体の「オスプレイを飛ばすな！立川市民の会」「市民のひろば・憲法の会」「平和憲法を守りいやす立川連絡会」「立川地域共同行動連絡会」の代表が発言。

立川市民連合事務局の島田清作氏、日本共産党の上條彰一、永元すま子、浅川修一の各市議が出席し、連帯のあいさつをしました。

福井) 公布72年憲法を考える 自衛隊明記どう思う？



自衛隊員の息子を持つ女性=2018年10月24日、福井市

つ女性=2018年10月24日、福井市



72年前の11月3日、日本国憲法が公布された。安倍晋三首相はいま、憲法9条に自衛隊を明記する改正に意欲を見せている。この改正についてどう考えるか。10月21日に福井市内で開かれた自衛隊のパレードを見物に来た人に聞いた。

飲食店やビルなどが並ぶ福井市中心部のフェニックス通り。自衛隊の車両や上空を戦闘機が通過すると、沿道に集まった約2万8千人（主催者発表）からは拍手や歓声が上がった。陸海空の自衛隊員約200人が行進し、パレードは約1時間続いた。

「若い人が一生懸命頑張っているのは頼もしい」。少し後ろの方で見物していた福井市の70代の女性は、2月の記録的な大雪の際に支援してくれた自衛隊員の姿と重ね合わせた。このとき国道8号で起きた約1500台の車両の立ち往生を解消させるため、福井県の要請を受けた自衛隊が除雪をしたり、動けなくなった車の人に食料を配ったりした。福井市の30代の男性は「今後も身近な支援を期待したい」と話した。

自衛隊に親近感を抱く人がいる一方、憲法改正については「よく分からない」という声が目立った。

家族と訪れた主婦の星野香織さん（33）は「すでにある組織なんだから、（憲法に）書いても変わらないのでは」と言った。先ほどの男性は「憲法を変えたからといって何かが変わるのだろうか」と冷ややかだ。

「災害救援ありがとう！ 自衛隊員を戦場には行かせない」。こんな横断幕が沿道の最前列にあった。掲げていたの

は市民団体「戦争する国づくり反対福井県連絡会」事務局長の南條光磨さん（74）だ。武器を持ち、海外に派遣される自衛隊は憲法違反だと考える。一方、各地での災害支援は心からありがたく感じ、自衛隊の存在そのものを否定しようとは思わない。「憲法に書き込めば、自衛隊はより本格的な軍事組織になると思う」と話し、9条の改正には反対の立場だ。

自衛隊員の家族はどう考えているのか。

福井県永平寺町に住む女性（67）の長男（39）は航空自衛隊員で、飛行機の整備を担当している。

息子は高校卒業後、自衛隊関係者から熱心な誘いを受けて入隊。体重は10キロ増え、真っ黒に日焼けした片腕で母親を持ち上げられるほどたくましくなった。

「自衛隊はいらない」という意見を聞くと、息子たちの頑張りが理解されていないような気がして、「憲法にきちんと書いてくれれば」と思うこともあった。

数年前に9条改正に関するニュースに触れた。帰省した息子とコーヒーを飲んでいるときに、もし日本が「戦争の放棄」をやめたら戦場に行くのかと尋ねてみた。息子は「僕は行くよ。仕事だから」と、間髪を入れずに答えた。

「そうになったら私はどうすればいいの」「あなたが死んだら私は死ぬよ」。不安を口にすると、息子は「そんなに簡単に人は死なないよ」と笑った。

ミサイルを抱え、飛行機に運び込んだという話も聞いた。「転んだら」ドカンだね」と息子は冗談交じりに言うが、話を聞いている側は気が気でない。

「命がけで産んで、育てた子だから」。心配のあまり食事がのどを通らないこともある。年に数回帰省してくるたびに、「もう会えないかもしれない」と考えてしまい、息子が使ったライターなどは捨てることができない。

「危ない仕事はやめて一般企業に行ってほしい」。取材に本音を漏らした。だが、今の仕事に打ち込んでいる息子には言えない。

憲法改正に向けた動きを耳にすると、「(息子が) もっと危険な仕事ができるようになるのでは」と勘ぐってしまう。

「家族の気持ちになって自衛隊の仕事について考えてほしい。自衛隊員にも家族がいて、一つひとつの命が重いんです」(南有紀)

## 憲法大切にすることも大事 障害者たちが理念訴え 東京 NHK11月2日 20時09分



3日で憲法が公布されて72年となるのを前に、障害のある人たちがそれぞれが大切にしている憲法の理念を訴える催しが都内で開かれました。

この集会は、日本障害者協議会が開き、東京千代田区の会場には、約300人が集まりました。

集会では、自民党が今の国会に党の改正案の提示を目指していることを踏まえ、障害のある本人が今の憲法の理念について、みずからの意見を述べました。

運動機能に障害があり、車いすを使用している大学2年生の加藤美来さんは、教育を受ける権利を保障した憲法26条を取り上げました。

そして、「この条文により、家族や友達、周囲の人たちのサポートを受けながら学校に通うことができました。ただし、同じ障害がある子どもたちの中には、学校に通いたくても通えないケースもあるので、しっかりと教育が受けられるようにしてほしいです」と呼びかけました。

また、糖尿病患者の西田えみ子さんが大切だと口にしたのが憲法13条です。5歳で発症した西田さんは長く生きられないと告げられ、生きる目標をもてずにいましたが、受験勉強の際に個人の尊重を掲げたこの13条の存在を初めて知り、勇気づけられたといいます。

西田さんは「病気で苦しむ中で、個人として尊重される権利が自分にもあることに驚き、憲法が人権を大切にしていることにとっても感動しました」と話していました。

## 日本国憲法公布72年 近藤益雄「法の下での平等」実践 知的障害児とともに 「風のなかに一本のマッチの火を まもるがごとく」

2018.11.3 11:00 長崎新聞

10月17日、民家と田畑が混在する長崎県北松佐々町口石免では、黄金色になった稲が収穫のシーズンを迎えていた。その一角に埋もれるようにして「口石児童遊園地」はあった。

「遊園地」といっても広さは約740平方メートル。観覧車やジェットコースターのような巨大なアトラクションがあるわけではない。むしろ、「児童公園」と呼ぶ方が自然だろう。滑り台付きのジャングルジムなどの遊具、バスケットボールの朽ちたゴールがある程度だ。

かつてここに知的障害児・者の生活指導・教育の場があった。1953年11月23日、口石小の特殊学級（現在の特別支援学級）の担任だった近藤益雄（えきお）＝当時（46）＝が、町が所有していた旧農学校の2階建て校舎を借り、「のぎく寮」を開設。それまで間借りしていた民家から、妻えい子＝本名エイ、当時（43）＝と5人の子ども、預かっていた3人の知的障害児と一緒に移り住んだ。

当時、遊園地部分には寮の運動場や畑などがあり、遊園地前に立ち並ぶ3軒の住居部分に寮舎があった。益雄の孫で、現在、そのうちの1軒に暮らす近藤健（62）は小学

校6年生まで寮で生活した。遊園地内を歩きながら「果樹園もあってミカンなどを栽培し、豚も2頭くらい飼っていた」などと振り返った。



のぎく寮（近藤健さん提供）

益雄は一枚の板に「風のなかに一本のマッチの火をまもるがごとく」と書き、ミカンの木の下に置いていた。当時、「就学猶予・免除」の名の下に就学の機会を奪われていた障害児は少なくない。旧優生保護法で障害者に不妊手術も施していた時代。人権は安易に踏みにじられ、益雄にも「ばかを集めて、もうけたそうな」と心ない言葉が向けられた。しかし、実際には益雄の教員給与や雑誌の原稿料、保護者が払う寮費のほか、篤志家や佐世保の米軍から寄せられた浄財などを、えい子が必死にやりくりしていたという。

当時、こうした施設は全国的にも少なく、寮生は県内だけでなく県外からも集まった。多い時で三十数人に達し、79年4月の閉園まで延べ百数十人が生活を共にした。だが益雄は閉園からさかのぼること15年、64年5月に自ら命を絶った。57歳だった。



2016年、相模原市の知的障害者施設で、入所者19人が殺害された。この夏には、国や自治体による障害者雇用の水増しが発覚。障害者の怒りや悲しみを増幅させる事態が相次いでいる。3日は日本国憲法公布72年。戦後間もない時期に障害者一人一人を大切にし、憲法13条「個人の尊重」や14条「法の下での平等」を体現した近藤益雄の生きざまの一端を紹介する。

◎長男の原爆死 「寂しい人々のためこの身生かす」

「長崎原爆で亡くなった兄歌の（あきら）ために、人の役に立つ仕事をしようと思ったのが、一番の源ではないでしょうか」。近藤益雄が特殊学級（現在の特別支援学級）やのぎく寮で知的障害児の生活指導・教育に力を注いだ理由について、益雄の次女で寮職員だった江口協子（79）は述懐する。

1945年7月、益雄の長男歌は長崎市の長崎師範学校に進学。8月9日、近くの長崎純心高等女学校裏で防空壕（ごう）を掘る作業中に被爆した。救援列車で諫早市へ運ばれたが、11日朝、長田国民学校で亡くなっていた。17歳だった。

当時平戸高等女学校の国語教師だった益雄は6月に兵隊に召集され、駐屯していた熊本の村で歌の死を知らされた。

益雄の次男で、のちに成人の知的障害者の共同生活施設「なずな寮」を運営する近藤原理＝昨年12月、85歳で死去＝は著書「のぎくの道」（あすなる書房、65年）で、益雄が復員後の10月9日に書いた日記の内容を明かしている。「原子爆弾によって歌が傷ついたのが二カ月まえ。明日は死んだ日。胸の痛みは依然として変わらない。悲しみは深く、いとしさは更に強い。この気持ちを、どうすればよいのか。今は、ただ寂しい人々のために、この身を生きそう」

#### ■学校運営

益雄は復員後、女学校に復帰。平戸の田助中を経て、1948年4月、田平小校長に就任した。この時、校長室で知的障害児に勉強を教えたり、一緒に昼食をとったりしている。

益雄は女学校以前にも県北や離島の尋常高等小学校に勤めており、その間、最も仲良くなったのは障害児だったという。益雄は雑誌「教育手帖」（日本書籍、50年）で次のように書いている。

「自分が幼いころから決して人なみ以上の子どもではなかっただけに、そして卒業などで、ごほうびなどというもの、一度もいただくような光栄に浴したことがない子どもだっただけに、また、おとなとなっても、いつも自信のない、つまらない生活をしてきた人間だけに、私は、このおくれた子どもたちの劣等感や卑屈さやあきらめが、たまらなく、いたましいのです」

そんな子どもたちが成長し、貧困に陥ったりわが子を死なせたりと必ずしも幸せにはなれず、益雄は「何とかしなくては」との思いを募らせていた。

田平小でも障害児に声を掛けるうちに親しくなり、校長室に集まってきた。時間を見つけて言葉や数を教えると喜んで勉強した。特殊学級設置へと気持ちは傾いたが、現場の教員やPTAに相談すると反対された。

もともと子どもたちとの触れ合いや授業を大事にしていた益雄は、学校運営という校長の仕事は向いていないと感じていた。さらに、地元の政争に巻き込まれたり、経費使い込みのあらぬうわさを教頭に流されたりした。そこで、教育委員会に校長降任を申し出ると同時に、障害児教育に理解のある人物が校長を務める口石小の教員になることを希望した。



1950年、県内で初めて特殊学級が設置された口石小。当時の校舎は建て替えられ、「みどり組」の教室は既くない。

休み時間には子どもたちの元気な声が運動場に響いていた  
＝北松佐々町

#### ■みどり組

50年春、口石小に県内初の特殊学級が誕生。益雄は担任となり「みどり組」と名付けた。その由来について著書「おくれた子どもの生活指導」（明治図書、55年）で説明している。

「私はみどりいろがすきです。平和と安らかさと、そしてのびゆくものあたらしさとを、その色に私は感じます。だから、そういうものに、子どもたちが、やわらかくつまれ、そしていつもあたらしくのびてゆくようにとのねがい、私はもったのです」

益雄は子どもたちが自然とみどり組に集まるのを待った。普通学級の教室を訪れて一緒に遊び、授業をした。仲良くなった障害児がみどり組を訪れるようになり、定員の15人ほどが集まった。

益雄は毎朝、教室に入ると、一人一人と握手をしながら言葉を交わし、表情を確認した。それぞれの能力に応じて根気強く文字や作文を書かせ、絵を描かせた。そして、褒めて励ました。将来の職業生活も見据え、「なかよくはたらこう」を目標にヤギやウサギを飼って世話をさせた。

だが、普通学級の児童から「みどり組はばか」とさげすまれ、「勉強ができない子はみどり組にやるよ」と言う教員もいて、子どもたちは悔しい思いをしていた。このため数年後、平凡な「一組」と改め、遠方からの入級希望もあり2クラスになった55年、「一の組」「二の組」とした。

#### ◎のぎく寮 「いつになったら休ませてくれるのか」

近藤益雄は口石小の特殊学級「みどり組」の担任になって4年目の1953年11月23日、北松佐々町所有の古びた旧農学校（2階建て）を借り、知的障害児・者と共同生活をする「のぎく寮」を開設した。



どろ粘土をこねる寮生と益雄（近藤健さん提供、画像を一部加工しています）

当時、益雄と妻えい子は間借りしていた民家で預かっていた3人の障害児のため、広い家が必要と感じていた。さらに近くの炭鉱マンの子どもたちがみどり組に通っており、閉山に伴う配置換えで引っ越し先に特殊学級がなく、みどり組に残れるよう寮をつくってほしいと頼まれた。益雄も学校の生活指導だけでは不十分と思っていた。

1958年11月発行の冊子「のぎく寮 5年目のすが

た」には、寮の詳細が記されている。「精神薄弱者を保護し教育するささやかな任意施設」とし、義務教育を終えた人への職業指導（農耕）、口石小特殊学級児童への学習指導、全寮生への生活指導を行うと規定。寮舎が110坪、寮地が農地や運動場など500坪、寮生居室が階上4間30畳、階下4間30畳で、学習室、工作室、食堂、炊事場、浴室、家族居室、ブランコ、砂場などを備えていた。寮生名簿には県内、佐賀、福岡、宮崎各県の8歳～24歳の20人が記載されている。

えい子は朝5時に起きて朝食を準備。益雄が6時に玄関で鐘を鳴らすと、寮生が起床。掃除をして6時半からラジオ体操をする。朝食後、みどり組の児童は益雄と一緒に登校し、他の寮生は飼っている豚などの世話をしたり、畑で農作業をしたり、寮内で絵を描いたりした。

夕方になると、益雄が男の子と一緒に風呂に入り、女の子は次女協子ら女性職員が洗ってあげた。夕食後、全員で一日の反省会をして午後8時ごろ就寝。益雄は時間を見つけて雑誌や本の原稿を書き、いったん寝てから深夜に読書をすることもあった。

えい子や協子はトイレの指導に当たった。協子は「トイレを自分一人できず、漏らす子も数人いた。時間を見ながらトイレに連れて行ったり、夜中に起こして行かせたり。それでも朝起きたらじゅっくり濡（ぬ）れていた」と振り返る。

#### ■寮生の死

「風のなかに一本のマッチの火をまもるがごとく」との決意で寮を始めた益雄にも、好きになれない子はいた。だが、仲良くなれないと指導や教育はできない。「神に祈るしかない」と思い、56年にキリスト教に入信した。

寮創設から8年目、1961年初めの寒い日だった。ある女の子の服に薪（まき）ストーブの火が燃え移り、やけどを負った。近くの病院に入院したが、間もなく亡くなった。協子は「今でも思い出すと心が痛む」と振り返る。だが女の子の両親は寮に理解があり、非難めいたことは言わなかったという。

益雄は翌62年春に教員を退職し、寮に専念。「のぎく学園」と改称した。日中はみどり組のように授業をした。

次男原理の著書「のぎくの道」によると、益雄は63年暮れごろから体の不調を訴え、「いつになったら、ゆっくりおれを休ませてくれるのだろうか」などと弱気になっていたという。

次第に床に伏せるようになり、佐世保の病院に入院。実際は違うのに胃がんを疑い、「死」を口にするようになった。64年5月16日に病院から寮に一時帰宅。翌17日午後、家族や職員、寮生が畑に出はらった際、自室で命を絶った。

協子は言う。「なんてわがままなことをしてくれたのかと腹が立った。あんな死に方をされると、残された者たちはどんなにつらいか」。一方、「もうエネルギーを使い果たし

ていたのではないだろうか。教員時代も受け持ちでないのに、貧しい子の家を訪問したりとよく面倒を見ていた。女の子が寮で亡くなったことも心労につながったと思う。理解してくれる人がもう少し周りにいたら…」とおもんばかり。

事実、益雄は膨大な量の著作を残しており、それらを読むと、社会の底辺で貧困や差別に苦しむ人々と積極的に関わり、温かい視線を送っていた様うかがえる。

益雄が亡くなった1964年の10月、東京オリンピックが開催され、世間は日本人選手の活躍に沸いた。日本は以後、高度経済成長を加速させていった。



益雄の死後、のぎく学園は保護者の強い希望で継続が決まった。えい子が協子らとともに切り盛りし、1979年4月、25年5カ月の歴史に幕を下ろした。えい子はその2年後に死去。71歳だった。

＝文中敬称略＝

【近藤益雄の略歴】1907年3月19日、銀行員の父益次郎と母マスの長男として佐世保市で生まれる。1913年、父が亡くなり、父の故郷平戸へ母と移り住む。1924年、東京の国学院大高等師範部に進学。1927年、柴山えい子（本名エイ）と結婚した。県北や離島の五つの尋常高等小で教員を務め、1941年から平戸高等女学校の国語教師。1945年6月に兵隊に召集され熊本で終戦。1950年春、田平小校長を自ら降任し、口石小の特殊学級「みどり組」の担任になる。1953年11月23日、「のぎく寮」を創設。1964年5月17日、死去。



近藤益雄（近藤健さん提供）

## 衆院予算委 改憲「自民案と違う」 自衛隊明記に首相答弁

毎日新聞 2018年11月2日 11時29分(最終更新 11月2日 16時09分)



衆院予算委員会 で答弁する安倍晋三首相＝国会内で2018年11月2日午前10時5分、川田雅浩撮影

安倍晋三首相は2日午前の衆院予算委員会で、自衛隊の存在を明記する憲法改正について、自民党の条文イメージ（たたき台）と自身の考え方は一致しないとの認識を示した。自民党は今国会の憲法審査会で条文イメージを説明する方針だが、首相の答弁に野党が反発する可能性がある。

首相は昨年5月、9条第1項（戦争放棄）と第2項（戦力不保持）を維持しつつ自衛隊を明記する改正を提起した。これを受けて自民党憲法改正推進本部は今年3月、「前条（9条）の規定は必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための実力組織として自衛隊を保持する」という条文イメージをまとめた。

自民党案によると自衛隊は「必要最小限度の実力組織」（政府見解）とは言えなくなるため、国民民主党の階猛氏は衆院予算委で「安全保障法制で認められた限定的な集団的自衛権より広い『フルスペック』の集団的自衛権の行使が可能になる」と指摘。階氏が「首相の考え方と自民党案は違う内容か」とただしたのに対し、首相は「そういう趣旨だ」と答えた。

首相は「憲法への明記で自衛隊の任務や権限に変更が生じるものではない」というこれまでの自身の発言について「私の考え方であり、自民党の案についてコメントしたことではない」とも述べた。【青木純】

## 首相、9条自衛隊明記「権限変わらず」 片山氏の更迭拒否

日経新聞 2018/11/2 17:52



衆院予算委で答弁する安倍首相（2日午前）

安倍晋三首相は2日の衆院予算委員会で、自身が提起した憲法9条に自衛隊を明記する改正案について「自衛隊の任務や権限に変更が生じるものではない」と述べた。それを含む自民党の改憲4項目に関しては「どのような形で憲法審査会に示すかは党において判断される」と語った。

片山さつき地方創生相は衆院予算委で、国税庁への口利き疑惑で、週刊文春が片山氏本人のものとして公開した音声データについて「自分の声かどうか判断できない」と説明した。立憲民主党の衆院会派に所属する小川淳也氏は片山氏の更迭を求めたが、首相は「与えられた職責をしっかりと果たしてほしい」と拒否した。

小川氏は7月の西日本豪雨の際に自民党議員が議員宿舎で開き、批判を招いた懇親会「赤坂 自民亭」について謝罪を迫った。首相は「（豪雨への）対応が遅れたとの指摘は当

たらない。野党は政治的に利用している」と反論した。

## 憲法公布72年 改憲議論、自民に孤立感 他党冷ややか

毎日新聞 2018年11月2日 21時44分(最終更新 11月3日 15時43分)



安倍首相は改憲議論の推進を呼びかけるが…

日本国憲法は3日で公布72年を迎える。安倍晋三首相は今国会で憲法改正論議の加速を目指す。与党・公明党の山口那津男代表は前のめりな発言を慎むようけん制。野党は改憲の賛否を呼びかけるテレビCMの規制を求めるなど、懸案の国民投票法改正案の成立さえ不透明だ。各党とも来年の参院選をにらんで「首相ペース」に乗る気配はなく、むしろ自民党が他党から孤立しつつある。【田中裕之】

2日の衆院予算委員会。国民民主党の階猛氏から「改憲は急ぐべきでない」と批判された首相は「各党が案を持ち寄って議論しなければ、国民に判断材料を提供できない。まず持ち寄って議論すべきだ」と反論した。

首相は、自身に近い新藤義孝元総務相を衆院憲法審査会の与党筆頭幹事に起用。自民の下村博文憲法改正推進本部長は、全国の党支部に改憲推進本部を設けるよう求め、機運を高めようと躍起だ。

だが、他党との距離は広がる。公明党には政権がごり押しすれば「おごり」批判が参院選を直撃しかねないという懸念があり、「改憲議論を進めよう」と誘った自民幹部を、公明幹部が「参院選の後でしょう」と一蹴する場面もあった。

衆参とも野党第1党となった立憲民主党は「まず国民投票法の不備を補う」(枝野幸男代表)と同法改正案の徹底審議を求め、歩み寄る気配はない。「少なくとも主要野党のどこかとは協調したい」と狙う自民がそこで目を付けたのは、野党第2党の国民だった。

国民が条件付きで改憲論議に応じると踏んだ下村氏は10月19日、国民の原口一博国会対委員長と会談して秋波を

送った。ところが国民はその後、CM規制強化の独自法案を発表。自民党重鎮は「憲法の議論を遅らせようとしている」と不快感を示したが、当てが外れたのは否めない。

さらに公明の北側一雄副代表が1日の記者会見で国民の案を「真摯(しんし)に検討したい」と呼応。公明や主要野党はまず改憲手続きの議論に時間をかける構えで、自民も高村正彦前副総裁が2日の講演で「憲法審で議論したらいいのでは」と語るなど、逆に他党へ歩み寄らざるを得なくなっている。

行政府の長である首相がしばしば改憲に踏み込むことにも、自民以外の与野党には「改憲を発議するのは立法府の国会だ」と批判があり、公明の山口氏は「政府は余計な口出しをしないでほしい」とけん制。9条への自衛隊明記などを訴えてきた首相だが、2日の衆院予算委では「(過去の発言は)私の考え方であり、自民の(改憲条文)案にコメントしたことはない」と苦しい釈明を展開した。

## 山本元地方創生相 「9条改正前に戦争回避の議論が先決」

毎日新聞 2018年11月2日 17時44分(最終更新 11月3日 00時20分)



山本幸三氏＝宮川裕章撮影

山本幸三元地方創生担当相は2日、憲法9条改正について「9条改正の前に戦争回避の議論が先決」として不要だとする考えを明らかにした。安倍晋三首相が9条改憲を掲げるなか、首相とも近い自民党の閣僚経験者が不要論を展開した。

毎日新聞ニュースサイトの「政治プレミア」に寄稿した。

山本氏は、9条1項と2項を維持して自衛隊を明記する案、9条2項を削除する案のいずれも「自衛隊はどこまで出かけるのかという議論が噴出し、国民の理解と支持が高まっている自衛隊が翻弄(ほんろう)され、怨嗟(えんさ)の的になる」と懸念。9条については新条創設も含め一切手を付けるべきではないと主張した。

自衛隊の文字を憲法に書き込みたいのならば、自衛権の範囲などの議論を起こさないよう憲法73条(内閣の職務)に「自衛隊を指揮・監督すること」と「そっと書き込むことで十分」と提案した。

自衛隊を憲法に明記しても戦争に勝てるわけではなく、9条2項を削除して他国と同じ軍事力を持っても戦争は回避できないとも強調した。

山本氏は首相の経済政策を強く支持し、「アベノミクスを成功させる会」も主宰している。

## 枝野氏「不勉強な人が憲法語る」 早稲田大講演で持論を披露

共同通信 2018/11/4 16:14

立憲民主党の枝野幸男代表は4日、東京都内の早稲田大で講演し「大きな話は誰でも語れる。ちゃんと勉強していない政治家が語るのが教育と憲法だ」と持論を披露した。安倍晋三首相が所信表明演説で、憲法を「国の理想を語るもの」と述べたことを念頭に置いた発言。枝野氏は「国の理想といった抽象論を言っていれば、もっともらしい」などと皮肉った。

衆院憲法審査会の幹事から外れた船田元・自民党憲法改正推進本部顧問についても言及。「ちゃんと勉強していると、船田氏のように安倍氏はおかしいと言ってしまい、干されてしまう」と指摘した。

## 立憲民主・枝野氏「なぜ今。さっぱり分からない」 安倍首相を重ねて牽制

産経新聞 2018.11.4 16:48

立憲民主党の枝野幸男代表は4日、東京都内での講演で、憲法改正に意欲を示す安倍晋三首相を「なぜ今持ち出すのか、さっぱり意味が分からない」と重ねて牽制（けんせい）した。一方、首相の改憲への姿勢に距離を置く自民党の船田元（はじめ）憲法改正推進本部顧問を「ちゃんと（憲法を）勉強していた」と評価した。

## 政党のCM禁止案、国会で議論を 改憲の国民投票を巡り高村氏

共同通信 2018/11/2 20:10



講演する自民党憲法改正推進本部の高村正彦最高顧問＝2日午後、東京都港区の共同通信社

自民党憲法改正推進本部の高村正彦最高顧問は2日、共同通信社の民放契約社報道責任者会議で講演し、憲法改正の国民投票を巡って、国民民主党が主張する政党のスポットCM禁止案を国会で取り上げるべきだとの認識を示した。「むげに断るのではなく、自民党としても真摯（しんし）に受け止め、良いか悪いかを考えたい」と述べた。

先の通常国会に公明党などと共同提出し、継続審議となっている国民投票法改正案と一体的に議論することには否定的な見解を表明。「別問題だ。切り離した方がいいという気もする」と語った。

野党に対しては、憲法審査会での討論には応じ、意思表示すべきだと訴えた。

## 高村正彦氏「安倍首相、自民党単独での憲法改正原案提出考えず」

産経新聞 2018.11.2 18:42

自民党の高村正彦憲法改正推進本部最高顧問は2日、東京都内での講演で、党改憲案を衆参の憲法審査会に提示して議論を促したい考えを改めて示した。安倍晋三首相が今臨時国会に向け「改正案を提出できるよう党を挙げて取り組む」などと発言していたことに関しては、「首相は最初から改正原案を自民党単独で出そうとは考えていなかった。実質的な自由討議を憲法審査会でやろうという意味だ」と説明した。

## 自民 高村氏 “政党CM禁止” 国民投票法改正案の議論に前向き

NHK2018年11月2日 20時24分

憲法改正の是非を問う国民投票をめぐる、国民民主党がまとめた政党によるテレビ広告の原則禁止などを盛り込んだ国民投票法の改正案について、自民党の高村前副総裁は、国会の憲法審査会で議論することに前向きな姿勢を示しました。

憲法改正の是非を問う国民投票をめぐる、国民民主党は、国民投票を公正に実施するため、政党によるテレビ広告を原則禁止することなどを盛り込んだ国民投票法の改正案をまとめました。

これについて、自民党の憲法改正推進本部の最高顧問を務める高村前副総裁は東京都内での講演で、「CM規制がいいかどうかはわからないが、1つの政党がまとめた以上、むげに断ることはない。自民党が『自衛隊の明記』など4項目の憲法改正案を議論してほしいと言うのと同じで、憲法審査会でしっかり議論したほうがいい」と述べました。

一方で高村氏は、国民民主党の国民投票法改正案と、自民・公明両党などが先の通常国会に提出し継続審議となっている改正案とは、改正の趣旨が異なるとして、合わせて審議することには否定的な考えを示しました。

## 自民・下村氏「安倍色、払拭が必要」 改憲訴え全国行脚 朝日新聞デジタル石井潤一郎 2018年11月3日 20時04分



改憲の必要性を強調する自民党の下村博文・憲法改正推進本部長＝北海道北斗市、石井潤一郎撮影

自民党の下村博文・党憲法改正推進本部長は3日、北海道北斗市で開かれた同党支部の研修会で講演し、「自衛隊は国民の9割が認めており、合憲化させるべきだ」と改憲の必要性を訴えた。「憲法はその国の理想を描くもの。当時の憲法は独立国家の憲法ではなかったと思う」とも主張した。

この日の講演は下村氏の「全国行脚」の第1弾。同党は10月末、全国の各選挙区支部に「憲法改正推進本部」の年内設置を要請するなど、改憲機運醸成に向けて動いている。

下村氏はその後、北海道函館市で記者団に、国会での改憲論議について「安倍政権のもとでは議論したくないと思っている人が多い。自民党全体でしっかり対応しながら、『安倍色』を払拭（ふっしょく）していくことが必要だ」と語った。

一方、同党の石破茂元幹事長は…

### 自民・下村博文氏 改憲論「良くも悪くも安倍色の払拭必要」

産経新聞 2018.11.3 18:47

自民党憲法改正推進本部の下村博文本部長は3日、北海道北斗市を訪れ、改憲機運を国民的に高めるための全国行脚を始めた。記者団に「良くも悪くも『安倍色』を払拭することが必要だ」と語り、安倍晋三首相の改憲意欲が前面に出すぎないように取り組む考えも示した。

講演で、11月3日は日本国憲法が公布された日だと言及した上で「いつも解釈改憲するのではなく、時代や環境の変化に応じて改正、修正すべきだ」と主張。国会での議論活性化に向けて野党側と水面下で接触していると明かし、「安倍首相の下では賛成できないとの拒否反応がある」と手応えの厳しさも語った。

### 下村氏「安倍色を払拭」 改憲機運醸成へ全国行脚

東京新聞 2018年11月4日 朝刊

自民党憲法改正推進本部の下村博文本部長は三日、北海道北斗市を訪れ講演し、改憲機運を国民的に高めるための全国行脚を始めた。各種世論調査で改憲への賛成が伸び悩む現状を受け、自ら各地を飛び回る。函館市では記者団に「良くも悪くも『安倍色』を払拭（ふっしょく）することが必要だ」と語り、安倍晋三首相の改憲意欲が前面に出すぎないように取り組む考えも示した。

講演で、十一月三日は日本国憲法が公布された日だと言及した上で「いつも解釈改憲するのではなく、時代や環境の変化に応じて改正、修正すべきだ」と主張。国会での議論活性化に向けて野党側と水面下で接触していると明かし、「安倍首相の下では賛成できないとの拒否反応がある」と手応えの厳しさも語った。

世論が盛り上がらない状況も懸念する。先月の共同通信世論調査では、改憲論議加速を求める首相の意向に賛成し

たのは36・4%にとどまり、反対が48・7%に上った。

下村氏は先月二十九日、二百八十九ある党の衆院小選挙区支部ごとに改憲推進本部を設立するよう通知した。三日は記者団に「依頼された地域は最優先で回る。直接対話を重ねていく」と強調した。

### 「改憲は安倍色払拭して議論」自民 下村氏

NHK2018年11月3日 15時52分



憲法改正をめぐって自民党の下村憲法改正推進本部長は、ほかの政党からは安倍総理大臣が主導する形での憲法論議に抵抗感が強いとして、党が主体となって議論を呼びかけていく考えを示しました。

憲法改正をめぐって、自民党は今の国会で憲法審査会に「自衛隊の明記」など4項目の改正案を提示したい考えです。これについて自民党の下村憲法改正推進本部長は3日、記者団に、公明党や野党の議員と個別に意見交換していることを明らかにしました。

そのうえで『憲法改正には賛成だが、安倍政権の下では議論したくない』という人が多い。いわゆる『安倍色』を払拭（ふっしょく）し、自民党全体でしっかり対応していくことが必要だ」と述べ、ほかの政党からは安倍総理大臣が主導する形での憲法論議に抵抗感が強いとして、党が主体となって議論を呼びかけていく考えを示しました。

また下村氏は、憲法改正の是非を問う国民投票をめぐって国民民主党がまとめた政党によるテレビ広告の原則禁止などを盛り込んだ国民投票法の改正案について、「何らかの形できちんと議論することは重要だ」と述べ、議論に応じる考えを示しました。

石破氏「安倍総裁が自分の考え説明を」

自民党の石破元幹事長は記者団に、「安倍色を払拭するのであれば、誰が自民党案について責任を持って語るのかということで、払拭もなにもできない。あまりテクニカルなことに走るべきではなく、安倍総理大臣がわが党の総裁なわけですから、総裁が黨員の前でちゃんと自分の考え方はこうだと述べていただかないとどうやって議論が深まるのか」と述べ、まずは安倍総理大臣みずからが考えを説明すべきだと重ねて強調しました。

### 自民・石破氏、党の改憲手法に「テクニカルに走るな」

産経新聞 2018.11.3 20:16

自民党の石破茂元幹事長は3日、党憲法改正推進本部の下村博文本部長が改憲論議の手法をめぐり「安倍色を払拭する」と言及したことに疑問を呈した。昨年、9条の改憲案を突然、提起した安倍晋三首相（党総裁）に触れ「安倍

色を払拭するのであれば、誰が責任を持って語るのか。テクニカルなことに走るべきではない」と札幌市で記者団に述べた。

戦力不保持を定めた9条2項の扱いをめぐり、首相とは意見が対立している。石破氏は首相について「党総裁として党员の前で考えを述べてもらわないと、議論が深まらない」と不満を示した。

改憲への取り組みに関しては「国民世論を二分することなく始める方法はある」と指摘し、9条にこだわらず公明党や野党が乗りやすい項目を選ぶよう主張した。

### 「安倍色を払拭するんであれば…」 自民・石破氏

朝日新聞デジタル 2018年11月3日 20時05分



自民党の石破茂元幹事長

自民党・石破茂元幹事長（発言録）

（同党の下村博文・憲法改正推進本部長が改憲論議を進めるために「安倍色の払拭（ふっしょく）が必要」と発言したことを記者団から問われて）憲法9条（改正案）は今まで党内で議論も何もなかったことを（安倍晋三）総裁が一言おっしゃってガラッと変わった。安倍色を払拭するんであれば誰が自民党の9条について責任を持って語るのか。我が党の総裁なわけですからきちんと党员の前で「自分の考え方はこうだ」とお述べいただかないと、どうやって議論が深まるんですか。

自民党の理念とはまた別に多くの党と一緒に議論できることって何だろうね、そういう切り口もある。憲法改正はできるということをあまり抵抗感なく、国民世論を二分するようなことなく始めていけるやり方は他にもあると思いますね。（札幌市内で記者団に）

### 国民投票法の成立優先、公明 改憲論議で幹事長

共同通信 2018/11/2 13:07

公明党の斉藤鉄夫幹事長は2日の記者会見で、臨時国会の憲法改正論議を巡り、先の通常国会に自公両党などが共同提出し、継続審議となっている改憲手続きを定めた国民投票法改正案の成立を優先すべきだとの考えを示した。「改正案を国会の憲法審査会で議論し、まず仕上げるのが大切だ」と語った。

改正案は、駅や商業施設などで投票できる「共通投票所」の導入などが主な内容。国民民主党が主張する政党のスポットCM禁止案については「新たな問題提起なので、しっかり議論すべきではないか」と述べた。

### 知事会、衆参議長に合区解消要請 憲法改正で

共同通信 2018/11/2 12:22

全国知事会で憲法問題を担当する徳島県の飯泉嘉門知事は2日、伊達忠一参院議長、大島理森衆院議長らと国会内で相次いで会談し、憲法改正による参院選合区の解消を要請した。

飯泉知事は要請後の取材に「早期に合区を解消してもらいたい」と強調。会談で伊達議長は「自民党が改憲案をまとめており、参院としてしっかり見ていきたい」と述べ、大島議長は「地方と国の在り方をしっかり議論するべきだ」と語ったという。

合区は2016年参院選で「鳥取・島根」「徳島・高知」の4県で導入。知事会は「国民の参政権に影響を与えた」などとして、今年7月に合区解消を求める決議を採択している。